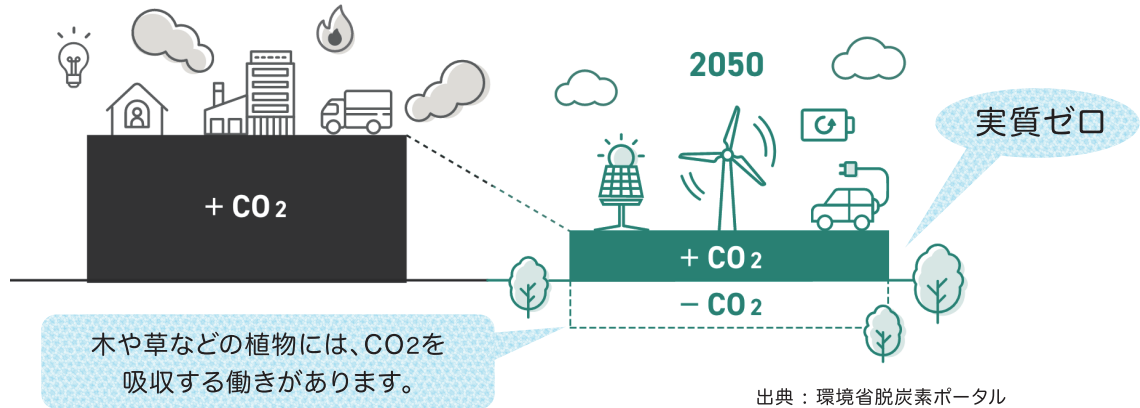


日本はどんな社会を目指しているの？

日本は、2020年10月に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言しました。

カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理等による「吸収量」を差し引いて、合計を実質ゼロにすることです。

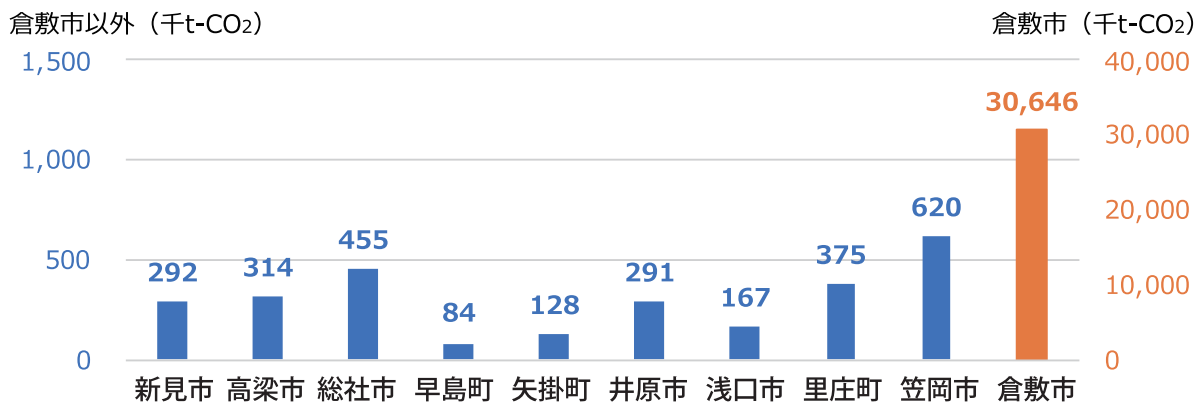


高梁川流域連携中枢都市圏ではどんな取組をしているの？

高梁川流域連携中枢都市圏においてもカーボンニュートラルへの取組を推進するため、2022年5月に、「高梁川流域カーボンニュートラル研究会」を立ち上げました。

〈温室効果ガス排出状況※1〉

10市町の排出量の合計(2018年度)は、33,372千t-CO₂です。



※1：新見市、高梁市、早島町及び倉敷市は各市町による算定結果。それ以外の市町は、本研究会による算定結果。

国の計画に基づくと、2050年までに各市町が排出量を実質ゼロにする必要があります。

どうすればカーボンニュートラルを実現できるの？

日本の温室効果ガス排出量のうち、90%以上をCO₂が占めています(2018年度時点)。カーボンニュートラルの実現に向けては、まずはCO₂の排出削減が必要です。